

かわら版あおば消防通信 45 号

平成 30 年 1 月発行：横浜市青葉消防署 協賛：青葉火災予防協会

平成 29 年は火災件数・救急件数ともに増加しました。

【火災概況】

青葉区の火災件数は55件で、前年と比較して4件の増加となりました。出火原因別では1位「放火」16件、2位「こんろ」8件、3位「電気機器」4件となっています。

29 年の特徴として、電気機器による火災が増えています。

また、横浜市内の火災件数は 854 件で前年より 100 件の増加となりました。

＜青葉区 火災件数＞

	29 年	28 年
火災件数	55 件	51 件
火災種別		
建物	31 件	28 件
車両	5 件	4 件
その他	19 件	19 件

＜主な出火原因＞

	29 年	28 年
1 位 放火	16 件	15 件
2 位 こんろ	8 件	7 件
3 位 電気機器	4 件	0 件

【平成 29 年 12 月 31 日現在】



火災を未然に防ぐため、実際に発生した火事事例をもとに、チェックポイントを掲載しましたので、ご自身で点検してみてください。

住宅火災の出火原因ワースト 3

放 火



- ☐ ゴミは収集日の朝に出す
- ☐ 家の周りを整理整頓し明るくする
- ☐ 屋外に燃えやすいものを置かない
- ☐ 車やバイクのカバーは可燃性のものにする

こんろ



- ☐ 調理中にその場を離れない
- ☐ 安全装置(SI センサー)付きコンロを使用する
- ☐ 周囲に燃えやすいものを置かない

電気機器



- ☐ たこ足配線はしない
- ☐ コンセントに溜まったホコリはこまめに掃除する
- ☐ 使用電力の容量を守る
- ☐ 電気コードに重いものをのせない

【救急概況】

青葉区の救急件数は、11,241 件で、前年と比較して 299 件増加しました。

救急要請の理由のうち、ケガによるものが、他の原因に比べ増加率が高く、そのうち約 8 割が転倒や転落によるものでした。部屋の中を整理整頓し、スリッパや靴下は滑りくいものを履きましょう。また、廊下や階段に手すりを設置し、ケガを未然に防止しましょう！

住宅用火災警報器の電池には寿命があります！

平成 18 年に住宅用火災警報器の設置が義務付けられてから 10 年が経過しました。

お宅の住宅用火災警報器、 そろそろ交換時期では ありませんか？



住宅用火災警報器は、古くなると電子部品の劣化や電池切れなどで、火災を感知しなくなることがあるため、注意が必要です。

設置されているお宅では、定期的に点検して確認しておきましょう。

◆交換やお手入れ、作動確認は、高所での作業となり、転倒や落下などの危険があります。安定した足場を確保して、作業を行ってください。

◆捨てる際は、本体と電池を別にして捨てましょう。

◆リチウム電池で 5 年や 10 年間動作するものが主流で、電池寿命を音声やブザー音で知らせるものもあります。電池交換が可能なタイプと、不可能なタイプがあり、電池交換不可能なタイプは機器寿命と共に警報器自体を取り替える必要があります。

こどもの国防災フェアを開催します！

● こどもの国防災フェア

防災・減災意識の普及啓発を図るために、体験型イベントを実施します。

日時：平成 30 年 2 月 3 日（土） 10:00～14:30

場所：こどもの国中央広場周辺（青葉区奈良町 700 番地）

内容：スタンプラリー（初期消火体験、地震体験、応急手当体験、煙体験）

音楽隊演奏及びドリル演技

消防車両展示

はしご車搭乗体験（13:30～14:30 先着 15 組）

※音楽隊の登場は、12:30～13:30 になります。

僕も行くよ！
一緒に遊ぼう！



青葉消防団の主な活動（2～3月）

- 2月 10 日（土）女性消防団員及び婦人消防隊員等合同研修
- 2月 17 日（土）消防団分団長研修
- 3月 10 日（土）消防団員に対する横浜防災ライセンス講習会



2017 年度全国統一防火標語：火の用心 言葉を形に 習慣に！